

家庭は教育の原点です⑦

家庭の役割を見直してみましょう。

「いつまでテレビを見ているの？宿題はないの？」こんな言葉をお子さんに向けたことはありませんか。最近ではテレビやビデオ、テレビゲームに加え、携帯電話でのメールに熱中する子どもたちも増えていきます。これらの機器はおもしろくて便利ですが、長時間の使用は、子どもの心身にさまざまな悪い影響を与えます。

今回は、テレビと子どもの成長について取り上げました。テレビを見るのが全て悪い訳ではありませんが、長時間の視聴は、目や頭を疲れさせるだけではなく、体を動かす時間や家族が触れ

テレビの見方に注意しよう

この特集は、教育の原点である家庭の役割について考えるコーナーです。教育委員会では、平成15年度から「思いやりのある子どもを育てる」「大人が変われば子どもが変わる」ことができることから実践しよう。」を市民のみなさんに呼びかけてきました。

特に、教育の原点である家庭の役割を見直し、子どもの心のよりどころとしての家庭のあり方について一緒に考え、実践するために、8つのメッセージにまとめ、広報「あきる野」に連載してきました。

広報教育あきる野「一房のぶどう」ではそのメッセージを再度取り上げ、教育の原点としての家庭の役割を確かめていこうと考えています。今回は、家庭における「テレビ」の見方について特集しました。家族みんなで「テレビ」について考えてみましょう。

合う時間、友達と遊ぶ時間、読書をする時間など、子どものうちに体験させておきたいさまざまな活動のための大切な時間を奪ってしまつことになりま。そこで、家庭でのテレビの見方について、次のことを考えてみましょう。

- 2歳ごろまでは、できるだけテレビを見せないようにし、それ以降も、視聴時間は、一日2時間以内、テレビゲームは30分程度を目安にしましょう。テレビづけになると、人と目を合わせなくなる子どももいます。また、テレビは一方通行なので

ある幼稚園で、「仲の良い友達是谁ですか？」と聞かれた子どもが「テレビ」と答えたという笑えない話もあります。テレビやビデオを見せておけば、子どもは静かにしているのだからいいと考えている大人もいますが、子どもの健全な成長にとって、決して好ましくない場合が多いということを、私たち大人は認識することが大切です。

指導・学務課 ☎558・8859



写真右から
 ● 李谷圭章さん(東京都国分寺市在住)
 ● ディクス・ヨリスさん(オランダ・ユトレヒト在住)
 ● 塩川彩生さん(神奈川県横浜市在住)

平成18年度アーティ スト イン レジデ ンス事業

教育委員会では、アートスタジオ五日市(戸倉300番地)に9月1日から11月30日まで外国人1人と国内から2人の計3人の若手版画家を招き、小学生や地域との文化交流を図りながら版画の創作活動を行うアーティスト イン レジデンス事業を実施しています。今年度で14回目を迎え、アーティストの出身国もアメリカ、ブラジル、オーストラリア、フランス、ポルトガル、インド、イタリアなど13か国に及んでいます。

今回は、次の方々を招いてレジデンス事業を実施しています。

子どもたちの安全・安心を願って

文部科学省「地域ぐるみの 学校安全体制整備 推進事業」の取組など

昨今、各地において子どもの命を脅かす事件・事故が多発しています。地域の防犯体制を強化しているにもかかわらず、新たな事件・事故の発生も報告されています。子どもの安全を守る取組には終わりが無いことを示しています。

こうした中、あきる野市教育委員会では、文部科学省の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の指定を東京都一市受けることになりました。その一環として、学校関係者と地域が一体となって防犯活動をより一層強化するために、去る、7月18日におきる野市学校安全推進会議を設置し、第一回の全体会を、9月1日に第二回の全体会を開催しました。

この会議は、各校の学校安全ボランティアの代表者、あきる野市安全・安心まちづくり協議会の委員(警察、町内会・自治会、保護司会、民生・児童委員、防犯協会、小中学校長会、PTA連合会、青少年健全育成地区委員会)、老人会、幼稚園・保育園長会及び行政等関係者で組織されています。

域の取組等について情報の交換を行い、学校安全対策の現状と課題の共通理解を図り、地域全体で子どもの安全を守る体制づくりを進めようと、活発な意見交換が行われました。

今後の取組として、具体的に次のような事業を推進していくことになりました。

- あきる野市学校安全推進会議
 学校の安全対策の関係者で、年4回の会議を実施し、情報交換を行い連携体制を一層強化する。
- 学校安全ボランティア
 各小学校ごとに、既存の組織や取組をもとに組織し、登下校の見守りを中心とした安全対策を日常的に実施する。
- 学校安全講習会
 学校安全ボランティア及び教員、市民等を対象として、学校の安全を確保するための基本的な知識・技能を習得するための講習会を実施する。
- スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導
 防犯の専門家や警察のOB等3~6人をスクールガードリーダーに委嘱し、半日単位で小学校区を各7巡回訪問する。
- 先進地域視察
 学校安全対策の先進地域を視察し、本市における対策のための情報収集を行う。

教育フォーラム

あなたの目が、
 あなたの声かけが
 子どもを守ります

子どもをひとりぼっちに
 しない地域づくり

わたしたち大人一人一人の責任で子どもの安全を守ります。各地で子どもたちの生命を脅かす痛ましい事件・事故が続発する中、家庭、学校、そして地域ができることは何か。あきる野市公立学校PTA連合会とあきる野市教育委員会が共催で、このテーマのもとに教育フォーラムを開催します。

日時 平成18年10月21日(土) 午後2時から4時30分まで
 場所 秋川体育館小体育室
 内容
 ①学校安全ボランティアの取組
 ②教育委員会・学校の取組
 ③橋本五郎氏(読売新聞編集委員)のコメント
 講演
 対象 保護者、地域の関係者、市民
 問合せ 指導・学務課 ☎558・8859



毎日が楽しみ、犬との登校

ムツゴロウ王国の 子ども見守り ボランティア

あきる野市では、町内会・自治会をはじめ、地域の方々などによる子どもたちの安全確保のための見守り活動が、各地域で積極的に行われております。

その活動の中の一つで、異色な活動を紹介いたします。一の谷小学校と西秋留小学校の地区では、「東京ムツゴロウ王国」の職員の方々が毎朝「王国」の犬を連れた子どもたちの見守りボランティアを行っています。子どもたちは犬と一緒に登校でき、毎日学校へ行くのが楽しくて仕方がない様子。「王国」の皆さんは子どもたちを見守るだけでなく、学校へ行く楽しさも与えてくれているようです。